昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2026年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2026年（令和８年）
11月11日水曜日
第2027号

京都自動車新聞



京ト協 物故者合同慰霊法要 2
1～6月整備需要等の動向調査 5
京整商 実習生100人が交流 7
損保ジャパン 舞鶴で防災イベント 8
◀第41回中古自動車査定コン開催 6

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp　https://kyotojidosha-np.jp

京整振（石田 南村）チームが3位入賞

第25回全日本整備技能大会 上位は25年ぶり快挙

日本自動車整備振興会連合会が7日に開催した第25回全日本自動車整備技能競技大会で、京都府自動車整備振興会の石田悠樹（光自動車工業）・南村悟（南村自動車工業）チームが埼玉、東京に続く第3位に入賞する快挙を成し遂げた。京都の上位入賞は2001年の第13回大会以来、実に25年ぶり。（4面に関連記事）

埼玉、東京に続く830点の高得点

同大会は、実車（700点）・基礎（100点）・アドバイザー（200点）の3競技の合計点数を競う全国大会で、今大会には地方大会を勝ち抜いた46チームが出場、紫紺の優勝旗をめぐり、しのぎを削った。

今大会の特徴は、実車競技の故障設定箇所がエンジン関係よりもボディー関連に集中していたこと。前回大会よりも選手が得点を積み上げづらい出題内容で、なかでも「室内に設けた不具合の解決には、多くのチームがたどり着けなかった」（島雅之競技・審査委員長）。京都の得点は1000点満点中830点。内訳は実車660点、基礎60点、アドバイザー130点。実車で先行できたのが大きかった。

京都チームは大会に向け、8月以降15日間にわたって特訓。競技の時間配分とタイムアップ時のフォーメーションをイメージした高難度の練習メニューで総合技術と「体内時計」を徹底的に鍛え上げてきた。実車・基礎・アドバイザーの一貫した本番さながらの予行演習に挑戦しては、それを独自の審査表に基づき厳しく採点するトレーニングを繰り返した。

表彰式で自らのチーム名がコールされた際、石田選手と引率にあたった京整振の古川洋介職員は拳を固く握り、喜びをかみしめた。南村選手は感極まり、しばらく立ち上がることができなかった。

石田選手は「良くても7、8位あたりと踏んでいたので（3位で）びっくりした。時間切れで基礎整備の一部が解けなかったし、記録簿も書けていない、片付けもしていないーという状況だったが、絶対に実車競技だけは全問クリアしようと思っていた」と会心の表情。南村選手は「業界の皆さまに多少なりと恩返しできたのでは。競技では、失点を極力少なくする特訓が生きた。3位入賞が分かった時、いろいろな感情がこみ上げてきた。石田選手がいてくれたからこそだ。チーム総力戦でこの成績を勝ち取った」と力を込めた。一方、古川職員は「練習時の良くない場合の癖が出て、時間配分が厳しかった。だが、設問に対する点数の意識はこれまで身に付けてきたもの。これこそが3位入賞できた要因だ」と振り返った。

◇

上位入賞チームと得点は以下の通り。

▽優勝＝埼玉（893点）▽準優勝＝東京（848点）▽第3位＝京都（830点）▽第4位＝静岡（824点）▽第5位＝愛知（819点）▽第6位＝宮崎（797点）▽第7位＝大分（796点）▽第8位＝奈良（779点）



（左から）石田選手、古川職員、南村選手



厳しく採点するトレーニングを繰り返した。





京整振㊤と光自動車工業㊦の応援団

京都の応援団から大きな歓声



茨木取締役

茨木茂易氏（いばらき・しげやす）1959年3月7日生まれ。77年3月京都府立田辺高等学校自動車工学科を卒業。82年4月京滋三菱ふそう自動車販売宇治工場、85年4月マンナ運輸整備工場（88年9月マンナオートに事業分割）、87年5月同自動車整備主任者、91年2月同自動車検査員、2000年4月同整備管理者、02年5月同取締役。

1978年8月3級自動車シャシ整備士、85年5月2級ジーゼル自動車整備士、88年10月自動車検査員教習終了。98年5月京都府自動車整備振興会会長表彰、99年7月京都陸運支局長表彰（自動車関係功労）、2004年1月日本自動車整備振興会連合会会長表彰、10年8月近畿運輸局長表彰（同）、20年10月国土交通大臣表彰（同）。

26年秋の叙勲・褒章□国交省

駒氏が旭日双光章受章

国土交通省は3日付で、2026年秋の叙勲および褒章受章者を発表した。京都からは自動車整備事業振興功労として、駒良夫氏（75）＝駒自動車工業社長、元京都府自動車整備振興会副会長＝が旭日双光章、国土交通行政事務功労で滝本南北氏（74）＝元近畿運輸局交通環境部長、元京都運輸支局長、元京都府バス協会専務＝も瑞宝双光章を受章。業務精励（自動車整備業務）として茨木茂易氏（67）＝マンナオート取締役＝が黄綬褒章に輝いた。

駒　良夫（こま・よしお）1951年1月7日生まれ。

奈良トヨタ自動車、鈴木自動車工業を経て1982年9月駒自動車工業を設立、社長に就任。2003年5月、京都府自動車整備振興会理事、17年7月総務・企画委員会副委員長、19年7月事業適正化委員会委員長、23年6月理事副会長、25年7月理事兼相談役。04年4月相楽・木津川地区自動車整備協議会副会長、06年4月同会長、10年4月同相談役、03年5月京都府自動車整備商工組合理事、09年6月事業委員会副委員長。

1990年2月木津川市商工会理事、18年4月木津川市商工組合市坂区総代。

2019年2月近畿運輸局長表彰（自動車整備事業役員功労）、23年10月国土交通大臣表彰（自動車整備関係経営者）。



駒社長

レンタカー・代車のことなら なんでもご相談ください
トヨタレンタリース京都
予約センター
(075) 315-7320 年中無休

■S-Z(2WD・7人乗り)。ボディカラーはニュートラルブラック(229)。デジタルインナーミラー、ユニバーサルステップ、デジタルキー、ITS Connectはメーカーオプション。プロジェクター式LEDヘッドランプ+LEDターンランプ+LEDクリアランスランプとアダプティブハイビームシステムはセットでメーカーオプション。トヨタ チームメイト アドバンスト パーク(リモート機能付)+パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)、パーキングサポートブレーキ(後方歩行者+周囲静止物)とエレクトロシフトマチックはセットでメーカーオプション。トヨタ チームメイト アドバンスト ドライブ(渋滞時支援)、緊急時操舵支援(アクティブ操舵機能付)+フロントクロストラフィックアラート+レーンチェンジアシスト、カラーヘッドアップディスプレイ、ドライバーモニターカメラはセットでメーカーオプション。快適利便パッケージ(High)はメーカーパッケージオプション。 ■写真は合成です。

Netz Kyoto
ネッツトヨタ京都
本社／京都市右京区西院月双町108-1
0120-867-850
五条カドノ店／北大路高野店／洛西樫原店
亀岡大井店／福知山前田店／舞鶴白鳥店
マイカーラボ カドノ店
https://www.netz-kyoto.co.jp